

## 白鷗大学 2018～2019 年度 海外派遣報告

### 1. はじめに

本学では、全学生を対象とした海外研修・交換留学制度と、経営学部生対象の海外留学プログラムがあります。いずれのプログラムも異文化の中で実体験から学び、外国語を使ったコミュニケーション能力を身に付けることを目的としています。帰国後、多くの学生は外国語や異文化への関心を深め、海外で学んだ経験を生かして、次なる目標に向かって行動を始めます。

インターネットで他国の情報を得られる時代ではありますが、実体験から感じ、学び、身に付けたことは一生忘れません。海外研修、交換留学での「実体験」がグローバル人材を作り上げていく一つの要素ともいえるでしょう。

本学創立者の故上岡一嘉初代学長は著書「異文化理解に学ぶ」の中で、今や世界のガンは民族問題だろうか。人間の愛情と理性が人間に普遍的な属性であるはずだ。イデオロギーの相違、皮膚の色、宗教や文化の違いを克服できないとは、義理にもそんな人間を賢いとは言えないのではないだろうか。と書いています。本学はこのメッセージを基本に相互理解、異文化理解を深める国際交流・留学プログラムを進めています。

### 2. 本学主催海外研修

#### ハワイ大学研修 アメリカ合衆国

期間：8/28～9/4 (2018)、8/27～9/3 (2019)

参加人数：2018年度 38人、2019年度 63人

研修先：ハワイ大学マノア校、ハワイ大学コミュニティーカレッジ

単位認定：随意科目 1 単位

プログラム内容：現地学生との交流、ハワイ文化授業及び体験、フィールドトリップ【ホテル、旅行社、幼稚園、小学校、裁判所、弁護士事務所等】

#### インディアナ大学研修 アメリカ合衆国

期間：8/29～9/11 (2018)、9/1～9/14 (2019)

参加人数：2018年度 21人、2019年度 30人

研修先：インディアナ大学パデュー大学インディアナポリス校

単位認定：随意科目 2 単位

プログラム内容：現地学生との交流、英語授業（会話、文法、リーディング、ライティング、プレゼンテーション）、文化授業、フィールドトリップ【Japan-America Society of Japan、スポーツ施設、ミュージアム、学校等】、ホームステイ

#### 台湾研修 台湾

期間：3/1～3/8 (2018)、3/1～3/7 (2019※中止)

参加人数：2018 年度 27 人、2019 年度新型コロナウイルスで中止

研修先：銘伝大学、南台科技大学

プログラム内容：現地学生との交流、中国語、講義台湾について【歴史、文化、経済、交通】、  
史跡訪問

### 3. 海外協定校主催海外研修

檀国大学（韓国、京畿道）

期間：8/6～8/24（2018）、8/5～8/23（2019）

参加人数：2018 年度 19 人、2019 年度 3 人

プログラム内容：現地学生との交流、午前韓国語レベル別クラス受講、

午後のクラスでは韓国文化体験【キムチ作り、映画、陶芸、テコンドー、伝統音楽、伝統ダンス、  
K-ポップダンス】

南台科技大学（台湾、台南）

期間：8/12～8/25（2018）、8/12～8/23（2019）

参加人数：2018 年度 1 人、2019 年度 0 人

プログラム内容：現地学生との交流、午前中に中国語レベル別クラス受講、

午後のクラスでは台湾文化体験【客家の藍染め、茶道、フィールドトリップ】

### 4. 交換留学（期間半年～1 年）

インディアナ大学パデュー大学インディアナポリス校（米国インディアナ州）

参加人数：2018 年度 2 人、2019 年度 2 人

檀国大学（韓国、京畿道）

参加人数：2018 年度 0 人、2019 年度 1 人

銘伝大学（台湾、台北、桃園）

参加人数：2018 年度 2 人、2019 年度 2 人

南台科技大学（台湾、台南）

参加人数：2018 年度 1 人、2019 年度 1 人

### 5. 経営学部留学プログラム（期間 3 カ月～4 カ月）

タコマコミュニティーカレッジ（米国ワシントン州）

参加人数：2018 年度 14 人、2019 年度 12 人

ビクトリア大学（カナダシアトル）

参加人数：2018 年度 15 人、2019 年度 15 人

## 6. まとめ

短期研修（7日間から1ヶ月程度）のプログラムでは、異文化生活体験及び現地学生との交流を基本に、次のステップである中長期の留学プログラム（3ヶ月から1年程度）や他国への関心に繋げることを目標にしている。

実際、短期研修に参加した学生のアンケート結果によると、外国語の勉強意欲は高まりましたか？、異文化理解が深まりましたか？、また海外に行ってみたいと思いましたが？といった設問の回答は9割以上がそう思うであった。学生に訊いてみると、海外では色々な人がいて、日本では身近にいないタイプの人と会って話すことが楽しかった。それに、ファッション、食べ物、言語、考え方までもがとてもユニークで刺激になった。機会があれば、他国へ行き新たな友達を作りたい。そのためにも長期の留学に挑戦しコミュニケーション能力を高めたい！と短期間の研修であっても次の目標である、他国への関心に繋がっているようだ。

中長期留学では、入学時に受けた TOEIC では平均が 350 点であったが、留学後は 510 点に上がり、中には 800 点台に達する学生も出ている。卒業後の進路は、商社や自動車関連会社に就職し、海外との取引部門で活躍したり、旅行会社で中国旅行プランニング及び添乗でリピーターを増やしている卒業生もいます。

今後、これらの海外プログラムを更に良いものにするためにも、出発前のプログラムで個々のコミュニケーション能力を高めることと、帰国後のモチベーションをサポートする留学生との交流プログラムを充実させていきたい。